

Company Profile



株式会社岩手銀行

設立：1932年
 本店：岩手県盛岡市中央通1-2-3
 概要：岩手県最大の地方銀行。2016年よりスタートした中期経営計画では「逆境を克服するため、イノベーションに挑戦し、地域とともに勝ち残る」をテーマとして掲げる。地域密着型の金融機関として、中小企業の経営サポートや東日本大震災からの復興支援など、さまざまな取り組みを行っている。



システム部
 部長代理
 浅井田 登志治 氏



システム部
 調査役
 坂本 敏行 氏



システム部
 伊藤 幸太 氏



株式会社岩手銀行 様

金融機関に求められる
 高度なセキュリティ環境を実現する「FSS」
 タブレット端末とスマートカードリーダー
 「ACR3901U-S1」の採用により
 渉外業務のさらなる効率化を促進



岩手県盛岡市に本店を構え、東北地方を代表する地方銀行のひとつである岩手銀行。かねてよりITの活用に積極的であった同行は、セキュリティ対策としてローレルインテリジェントシステムズのセキュリティソリューション「FSS」を導入。金融機関に求められる高度なセキュリティ環境を実現しました。そしてこのたび同行は、FSSを搭載したタブレット端末とAdvanced Card Systemsのスマートカードリーダー「ACR3901U-S1」を採用し、Bluetooth技術を使いPCと非接続での運用を実現。渉外業務のさらなる効率化を促進しています。

POINT

- 複数のOSに対応し、スタンドアロンでも使える柔軟性の高さ
- 法律の改定、業界ルールの変更にもアップデートで対応
- 手軽に使えるスマートカードリーダーの採用で渉外業務を効率化

岩手県を代表する地方銀行
 イノベーションにも積極的に
 取り組む

岩手銀行は、岩手県盛岡市を中心に全108店舗を構える、同県を代表する地方銀行です。創業85周年を迎えた2017年には、岩手県を舞台にした朝の連続テレビ小説で人気を博した女優の「のん」さんをイメージキャラクターに起用、大きな話題を呼びました。

同行は「地域社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、各種自治体とも連携しつつ、地域密着型の金融機関として地元経済の活性化への貢献を目指しています。また、イノベーションへの取り組みにも積極的に、2007年には東北に本拠を置く地方銀行として初めてインターネット支店「岩手銀行イーハトーヴ支店」を開設。2017年1月には、日本IBMと共同で仮想通貨を支える技術「ブロックチェーン」を活用したサービスの実証実験を行うと発表するなど、常に未来を見据えたチャレンジを行っています。

以前よりITの導入に積極的だった同行では、セキュリティに対する意識も高く、2006年にはクライアントレベルで抜本的なセキュリティ対策を実施しています。そのきっかけについてシステム部 部長代理 浅井田登志治

氏は「2005年、個人情報保護法が完全施行されたことに伴い、全国銀行協会より顧客情報の安全管理を徹底せよという指針が通達されました。具体的にいえば、ログの蓄積やパスワード運用ルールの改訂、特定ファイルに対するアクセス権限の設定など、より高度なセキュリティ対策を求められることになったのです。そこで当行でも、いかに対応するか検討を開始したのです」と説明します。

5社の提案の中からFSSを選定
 決め手は対応力の高さと
 コストの安さ

岩手銀行では前述の課題に対応するため、新たにシステムを導入することを決定。2005年5月より導入プロジェクトをスタートさせ、9月にローレルインテリジェントシステムズのセキュリティソリューション「FSS」の採用を決めました。では、その決め手はどこにあったのでしょうか。

「当行がシステムに求めた要件ですが、①当時、社内のPCで使用していた2種類のOS (Windows 95/98)に対応できること、②一部のPCはネットワークから切り離されているため、スタンドアロンでも使えること、などです。提案は大手ベンダなど5社からいた

だいたのですが、OSが未対応だったり、ネットワークに接続していないと利用できなかったりと、その多くは当行の事情にマッチしていませんでした。一方で、FSSはこれらの要件をクリアできる対応力の高さがあり、加えてコストが大幅に安いという魅力もありました。そこで、最終的にFSSを選定したのです」(浅井田氏)

同行にとって、ローレルインテリジェントシステムズの製品を採用するのは初めてのことでしたが、導入前に他の地方銀行で実際に運用されている状況を視察したり、実機によるデモを見学したりすることで、不安も払拭されたとのことでした。

行内1800台のPCに導入 高度なセキュリティ環境を実現

2006年3月、岩手銀行はFSSの導入を開始。作業は全拠点に向けてインストールCDを配布し、各支店のシステム担当者が既存PCに導入するという流れで進められました。対象のPCが1800台という大規模な導入になりましたが、あらかじめ担当者を集めてトレーニングを行っていたこともあり、特に大きなトラブルが起きることもなかったといえます。なお、行員に対するトレーニングは、カードをカードリーダーに差し込むだけで使えるため、ファイルの運用ルールなどを徹底したのみで、特別なことは何もしなかったとのことでした。

2006年4月のサービスインから取材時(2017年6月)に至るまで、同行は10年以上にわたってFSSを使い続けていますが、その機能をフルに活用。高度なセキュリティ環境を実現しています。

「たとえば新たにシングルサインオン製品を購入するのは高価なため、導入済のFSSのアプリケーションログオン機能(カードより自動送出する機能)にて代替し、費用を抑えました。また、以前は支店によってはパスワードの変更に数日かかることがありましたが、2008年にパスワード遠隔更新機能が追加

されたことで、即時対応できるようになりました。変わったところでは、『3.11』後に節電の必要に迫られた際、カードを抜くとディスプレイの電源を落とす機能を節電に応用しています。このほか、法律が改訂されたり、業界ルールが変わったりしたときも、機能やソリューションを追加して対応してくれるので非常に助かっています」(浅井田氏)

FSSを搭載したタブレット端末と スマートカードリーダー 「ACR3901U-S1」の導入により 渉外業務のさらなる効率化を促進

2017年2月、岩手銀行はFSSを搭載したタブレット端末を導入しました。その狙いについてシステム部 調査役の坂本敏行氏は「これまでは、渉外業務用の端末としてAndroidタブレットを活用してきました。しかし、OSがAndroidのため業務系システムと連携できず、閲覧できるものはインターネット接続できる範囲に限られていたため、利便性という意味では物足りないところがあったのです。そこで、場所を問わず業務を行えるようにするため、FSSを搭載したWindowsタブレットを導入することにしました。これならセキュリティも担保した上で、行外から業務系システムにアクセスすることができます」と語ります。

なおFSSの活用には認証に使うカードリーダーが欠かせませんが、その選定の際には試行錯誤があったといえます。その経緯についてシステム部の伊藤幸太氏は「当初はUSBタイプも検討したのですが、お客様に端末の画面をお見せする際、カードリーダーが邪魔になってしまうという欠点がありました。小型のカードリーダーもあったのですが、利用するためにはICカードを作り直す必要があり、手間とコストを考えれば現実的ではありません。加えて、USBタイプでは何度も抜き差しを繰り返すため、破損しやすくなるのではないかと懸念がありました。どうしたものかと悩んでいたところ、Advanced Card SystemsよりBluetoothタイプのスマート

カードリーダー「ACR3901U-S1」なら非接続での運用が可能という提案を受け、これを採用したのです」と説明します。

同行はタブレット端末350台を導入。今ではおよそ400~500名の行員が利用しているそうです。

安全性と業務効率の向上を両立 トラブルなく使い続けられる セキュリティ

岩手銀行では、これまでFSSのリプレースを検討したことが一度もないとのこと。その理由について浅井田氏は「セキュリティ対策に必要な機能が備わっている上、FSS自体が時代に合わせて進化してくれます。OSのバージョンアップに関しても、保守の範囲で実施してくれるため、追加の費用がかからないのはありがたいですね。導入から今日まで大きなトラブルもなく、不満なく利用できていますので、切り替えを考えたことはありません」と語ります。

高度なセキュリティ環境が求められる金融機関の業務を裏から支えるFSS。今後について坂本氏は「カードリーダーがさらに薄くなると思います。また、不正操作時のアラーム通知機能や、ログ調査や分析がしやすいようなツール類の提供を期待します」と語っていただきました。



ACR3901U-S1 Bluetooth® 接触式カードリーダー



株式会社ローレルインテリジェントシステムズ
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-10
第2ローレルビル1F
TEL:03-5510-4711
<http://www.lis-fss.co.jp/>

FSS販売店:



ローレルバンクマシン株式会社
〒105-8414 東京都港区虎ノ門1-1-2
TEL:03-3502-3311
<https://www.lbm.co.jp/>



Advanced Card Systems Japan株式会社
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17
AIOS永田町ビル2F
TEL:03-6205-7201
<http://www.acs-japan.jp/>